

NY マーケットレポート (2017 年 9 月 1 日)

NY 市場では、序盤に発表された 8 月の米雇用統計において、景気動向を敏感に映す非農業部門雇用者数が市場予想を下回る結果となったことから、ドルは主要通貨に対して下落した。ただ、その後は、米国の雇用環境は比較的堅調で、年内の利上げの可能性は十分にあるとの見方を受けて、ドルが買い戻される動きとなった。

また、その後に発表された米 ISM 製造業景況指数が、2011 年 4 月以来 6 年 4 ヶ月ぶりの高水準となったことも加わり、ドルは堅調な動きが続いた。一方、ECB が金融緩和策の縮小にどの様に取り組むのかについて、先行き不透明感が強まったとの見方が広がったことでユーロの圧迫要因となった。

2017年 9月1日 (金)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	110.18	110.22	109.91
EUR/JPY	130.95	131.19	130.87
GBP/JPY	142.29	142.57	142.04
AUD/JPY	87.38	87.58	87.30
EUR/USD	1.1886	1.1923	1.1879

LONDON	高値	安値
USD/JPY	110.19	110.04
EUR/JPY	131.34	130.86
GBP/JPY	142.68	142.12
AUD/JPY	87.44	87.21
EUR/USD	1.1928	1.1882

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	110.30	110.44	109.57
EUR/JPY	130.83	131.32	130.64
GBP/JPY	142.89	142.99	142.30
AUD/JPY	87.86	87.94	87.25
NZD/JPY	78.97	79.06	78.75
EUR/USD	1.1862	1.1980	1.1851

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	21987.56	+39.46
S&P500	2476.55	+4.90
NASDAQ	6435.33	+6.67
コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1330.40	+8.20
NY 原油	47.29	+0.06

9/4 経済指標スケジュール

08:50 【日本】8月マネタリーベース
 10:30 【オーストラリア】2Q企業営業利益
 10:30 【オーストラリア】8月ANZ求人広告件数
 17:30 【英国】8月建設業PMI
 17:30 【欧州】9月センチックス投資家信頼感
 18:00 【欧州】7月生産者物価指数
 22:00 【シンガポール】8月電子産業指数
 22:00 【シンガポール】8月購買部景気指数
 22:00 【メキシコ】7月景気先行指数

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.342%	1.326%
3年債	1.456%	1.429%
5年債	1.735%	1.702%
7年債	1.988%	1.945%
10年債	2.160%	2.119%
30年債	2.772%	2.725%

ドイツ10年債	0.379%	0.361%
英国 10年債	1.057%	1.034%

9/4 主要会議・講演・その他予定

・米国市場休場(レイバーデー)

NY 市場レポート

21 : 30

＜ 経済指標の結果 ＞

8 月米失業率 4.4% (予想 4.3%・前回 4.3%)

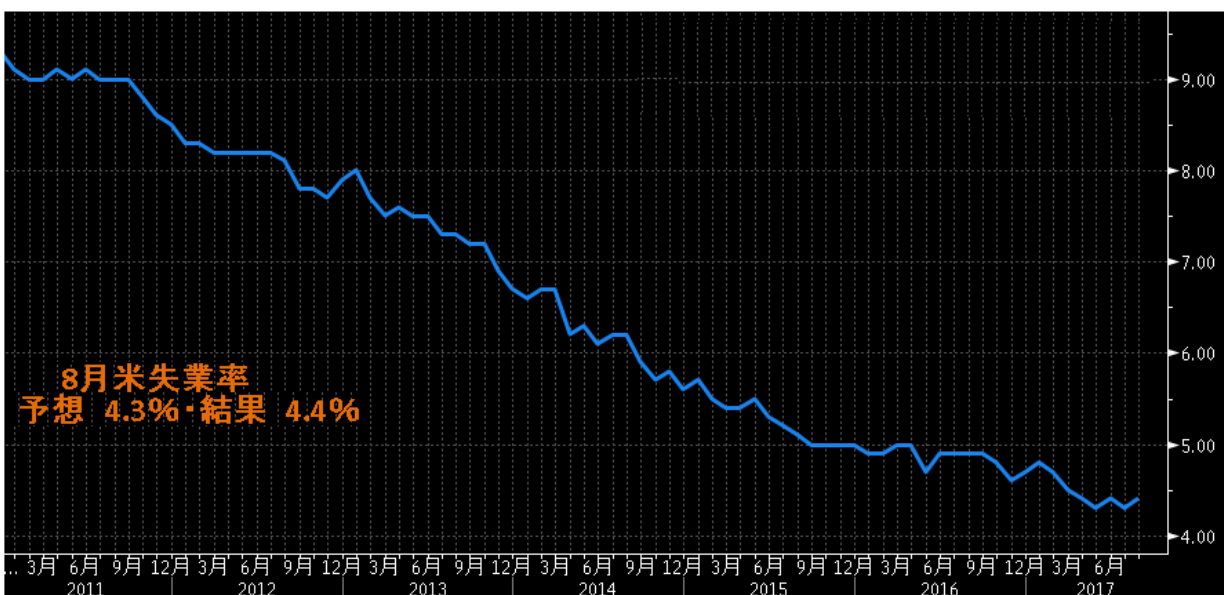
8 月米非農業部門雇用者数 +15.6 万人 (予想 +18.0 万人・前回 +18.9 万人)
前回発表の+20.9 万人から+18.9 万人に修正

8 月米平均時給 (前月比) 0.1% (予想 0.2%・前回 0.1%)
前回発表の 0.3%から 0.1%に修正

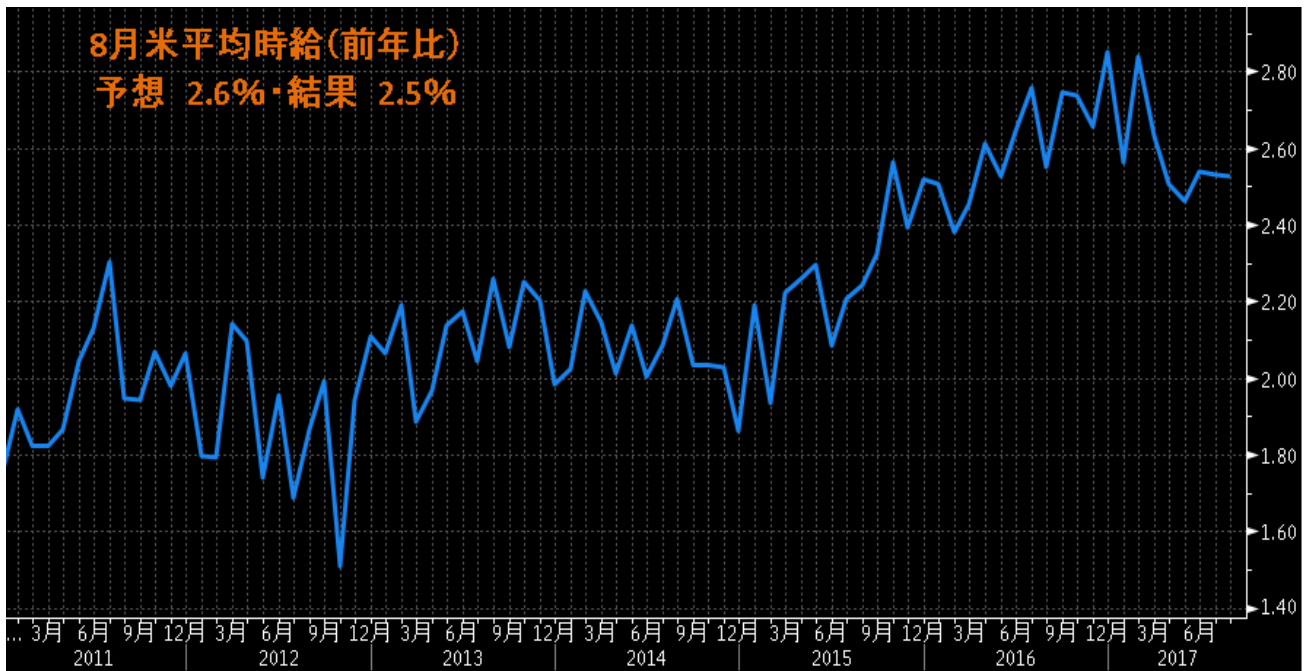
8 月米平均時給 (前年比) 2.5% (予想 2.6%・前回 2.5%)



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg



8月の米雇用統計では、景気動向に敏感に映す非農業部門雇用者数が+15.6万人となり、市場予想の+18.0万人を下回った。そして、前回結果が+20.9万人から+18.9万人に下方修正されたことで、安定的な雇用の伸びの目安とされる+20万人を2ヵ月連続で割り込んだ。一方、失業率は0.1ポイント上昇の4.4%となった。FRBが重視している平均時給は前年比+2.5%となったが、市場予想の+2.6%を下回った。民間部門雇用者数は+16.5万人となり、製造業は+3.6万人、建設業は+2.8万人、鉱業・林業は+0.6万人。また、サービス部門は+9.5万人となったが、前月の+17.9万人から大幅に伸び幅が縮小した。そして、労働参加率は62.9%と前月から変わらなかった。フルタイムで働きたいのにパートの仕事しか見つからない人なども含めた広義の失業率(U6)は8.6%と横ばいだった。



22 : 40

《 要人発言 》

コーン NEC 委員長

- ・「米税制改革、やり遂げられると楽観している」
- ・「トランプ大統領とは非常に良好な関係にある」
- ・「税制改革案、数週間以内にまとまる見通し」
- ・「経済については非常に満足している」
- ・「賃金については懸念がある」
- ・「2月に現在と同じ職務に就いている考えだ」

8月米自動車販売

フィアット・クライスラーは-10.6%（予想-5.9%）

フォードは-2.1%（予想-3.5%）

GMは+7.5%（予想+3.7%）

トヨタは+6.8%（予想+7.8%）

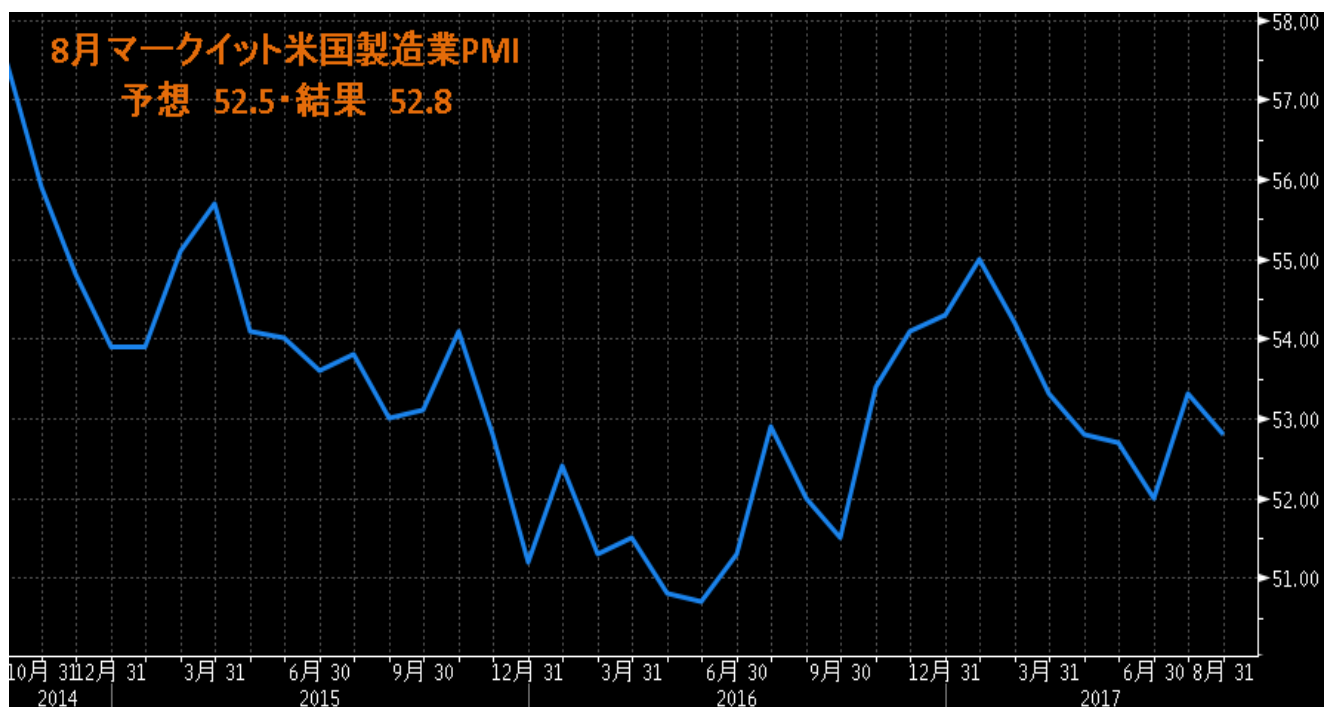
日産は-13.0%（予想-0.6%）

本田は-2.4%（予想+4.2%）

22 : 45

《 経済指標の結果 》

8月マークイット米国製造業PMI 52.8（予想 52.5・前回 52.5）



出所：Bloomberg

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

8 月米 ISM 製造業景況指数 58.8 (予想 56.5・前回 56.3)



経済指標データ

◀ 米 ISM 製造業景況指数 ▶

	8 月	7 月	6 月	5 月	4 月	3 月
景気	58.8	56.3	57.8	54.9	54.8	57.2
価格	62.0	62.0	55.0	60.5	68.5	70.5
生産	61.0	60.6	62.4	57.1	58.6	57.6
新規受注	60.3	60.4	63.5	59.5	57.5	64.5
受注残	57.5	55.0	57.0	55.0	57.0	57.5
入荷遅延	57.1	55.4	57.0	53.1	55.1	55.9
在庫	55.5	50.0	49.0	51.5	51.0	49.0
雇用	59.9	55.2	57.2	53.5	52.0	58.9

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

8 月ミシガン大学消費者信頼感指数 96.8 (予想 97.5・前回 97.6)



経済指標データ

《ミシガン大学消費者信頼感指数》

8月確報・8月速報・7月・6月・5月・4月

消費者信頼感・・・96.8・・・97.6・93.4・・・95.1・・・97.1・・・97.0

景気現況指数・・・110.9・・・111.0・113.4・・・112.5・・・111.7・・・112.7

消費者期待指数・・・87.7・・・89.0・80.5・・・83.9・・・87.7・・・87.0

1年インフレ・・・2.6・・・2.6・・・2.6・・・2.6・・・2.6・・・2.5

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、欧州企業の業績拡大期待や、米国株が米雇用統計の発表を受けて上昇したことが下支え要因となり、主要株価は続伸となった。

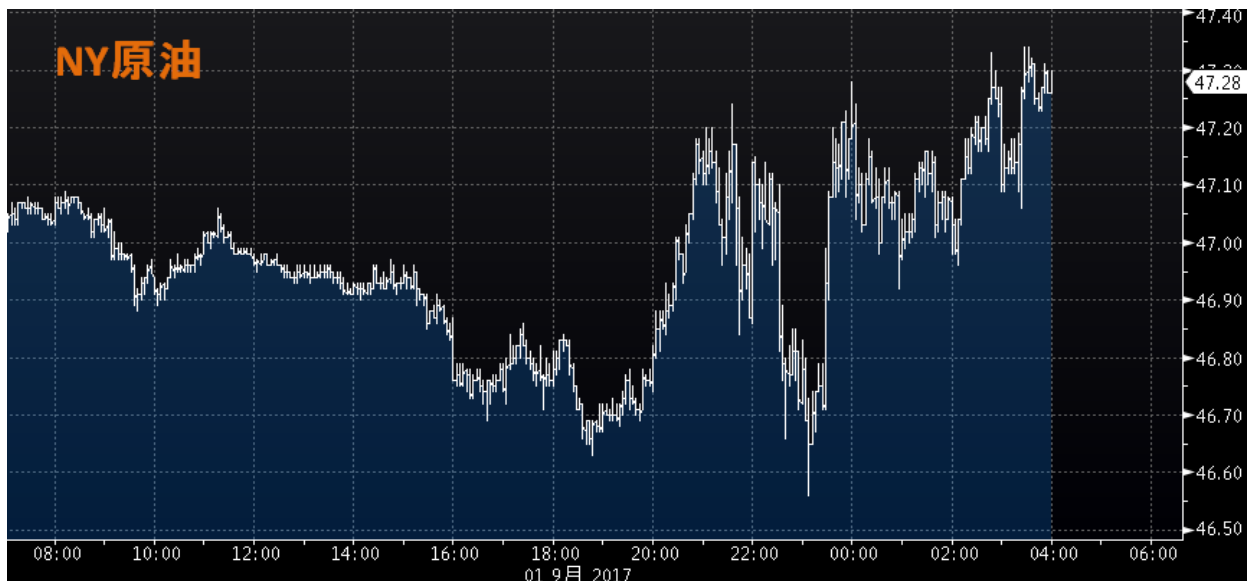


出所：Bloomberg

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、中心限月が前日比 0.06 ドル高の 1 バレル＝47.29 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、大型ハリケーン「ハービー」がもたらした洪水による米南部の製油所閉鎖で原油需要の減少が懸念され、売りが先行したが、その後は一部の製油所が稼働を再開したと伝わったこともあり、買い戻された。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、8月の米雇用統計で非農業部門の雇用者数の伸びが市場予想を下回り、早期の追加利上げ観測が後退したことで、買い安心感が広がり、主要株価は堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比90ドル高まで上昇した。ただ、引けにかけてはやや上値の重い動きとなった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米雇用統計で雇用者数の伸びが市場予想を下回る結果となったことを受けて、早期の利上げ期待が後退し、ドルが主要通貨に対して軟調な動きとなった。一方、豪ドルや南ア・ランドなどの資源国通貨は対ドルなどで堅調な動きとなった。その後、製造業関連の経済指標が良好な結果となったこともあり、ドルは反発したものの、上値の重い動きが続いた。



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。